

2. 指標設定

成果指標	指標名	農道の維持管理		目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	—				総合計画/後期基本計画において、基本施策(4-1-2)目標達成のために重要な施策となっている			
活動指標	指標	a	維持補修額	b	c		d		
	数値	目標	—	目標	目標		目標		

3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
農道の維持管理		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 維持補修額	千円	2,976 千円	10,790 千円	6,742 千円
b		—	—	—
c				
d				

4. 課題と対応

課題
広域農道、農免農道等、幹線的な農道は通行者も多く定期的な維持管理特に春から秋の除草作業が安全な通行確保に欠かせない状況である
対応（改善点等）
国・県の補助事業による防草対策事業の検討（現段階では、該当する事業がない）

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

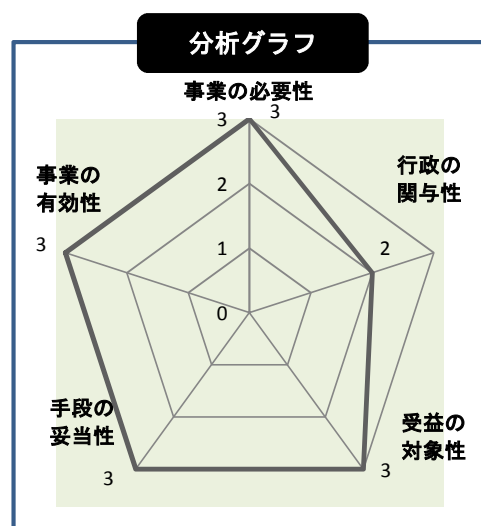
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		16,207	23,615	25,332	27,376
うち経常経費		16,207	23,615	18,506	18,636
財源内訳	国費				
	県費			9,125	8,692
	市債				
	その他			42	
	一般財源	16,207	23,615	16,165	18,684
うち経常		16,207	23,615	13,564	18,636
事業費に係る人件費		4,245	3,413	3,504	3,225

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
県営事業等で整備された農道が、平成23年度より随時大分県から豊後大野市へ管理移管される予定である。管理移管後は、市が農道として管理するため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 通行者の安全な通行を確保を目的に実施する維持管理事業の必要性は高い
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 農道管理者は地元であるが、一定要件農道については市が管理者である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 対象者は農道の通行者であるため、公共性は高い
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 異常気象発生後の点検はもとより、定期的な点検パトロールによる補修箇所の把握は重要である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 対策工事の実施により、目標である通行者の安全な通行が確保されていると判断する



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	限られた予算の中で事業効果を上げること